

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	子育てのまちづくり支援事業	会計	一般会計	事業No.	171	施策順No.	37-017
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-2-8-11-7		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	課等名			子育て支援課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実	事業期間	開始	21	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	生後4か月の乳児家庭						A十分達成した Bどちらかといえは達成した Cどちらかといえはできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		0歳児数(各年4/1,住基+外登)			934	908	889	
	意図	乳児家庭が、地域の中で孤立しないようにする。 地域が家庭育児を見守っていることを認識し、児童虐待の発生を防止する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	家庭訪問率(訪問希望家庭)(%)			100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	民生児童委員・主任児童委員が子育て家庭へ訪問することで子育て家庭を地域で見守ることができる。また、プレゼント持参子どもの誕生を祝うことにより、子育て家庭も地域で見守られているという安心感を得ることができる。こうしたことにより、親の孤立化を防ぎ、児童虐待の防止につなげている。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>新すくすくプラン後期計画対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任児童委員及び民生児童委員に、新生児情報を提供する。 主任児童委員は、民生児童委員の協力を得て生後4か月の乳児家庭を訪問し、次のことを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの誕生を地域全体で喜び、子育てをねぎらう。また、出生祝い品を手渡す。 子育ての不安やトラブルがあれば、それを聞き取り地域でできるサポートに取り組む。 必要な家庭は、保健課や子育て支援課に連絡し、必要な保健福祉サービスの提供につなげる。 出生祝い品は、地域ボランティア団体(飯田市更生保護女性会を予定)に手作りしていただく 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 主任児童委員は、民生児童委員の協力を得て生後4か月の乳児家庭を訪問する。	1 家庭訪問件数	1 895件
	2 飯田市更生保護女性会が出生祝い品を製作。	2 出生祝い品製作数	2 895件
23年度実施計画	1 主任児童委員は、民生児童委員の協力を得て生後4か月の乳児家庭を訪問する。	1 家庭訪問件数	1 900件
	2 飯田市更生保護女性会が出生祝い品を製作。	2 出生祝い品製作数	2 900件

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金		260	260	368	
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		261	261	368		
計(A)		521	521	736		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間			60		
	人件費計(B)			65		
	トータルコスト A+B			586		

次世代育成支援対策事業 国1/2

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを産み育てやすい環境の充実	施策の成果指標又はムツス指標	子育てしやすいまちだと感じている人の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	民生児童委員・主任児童委員が子育て家庭へ訪問することで子育て家庭を地域で見守ることができる。また、プレゼント持参し子どもの誕生を祝うことにより、子育て家庭も地域で見守られているという安心感を得ることができる。こうしたことにより、親の孤立化を防ぎ、児童虐待の防止につなげている。		
	後期に向けた課題	訪問を拒否する家庭への支援、養育が困難な家庭発見後の支援に課題がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	民生児童委員・主任児童委員が子育て家庭へ訪問することで子育て家庭を地域で見守ることができる。また、プレゼント持参し子どもの誕生を祝うことにより、子育て家庭も地域で見守られているという安心感を得ることができる。こうしたことにより、親の孤立化を防ぎ、児童虐待の防止につなげることができる。		
	後期に向けた課題	訪問を拒否する家庭への支援、養育が困難な家庭発見後の支援に課題がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	プレゼントは更生保護女性会が袋詰めしており、手作りのカードを作成するなどボランティアで事業を支えていただいている。また、配布する民生児童委員、主任児童委員もこの事業に対する報酬はないが、積極的に事業を行なっている。		
	後期に向けた課題	訪問を拒否する家庭への支援、養育が困難な家庭発見後の支援に課題がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	目的は児童虐待を抑止することであり、受益者負担を求める事業ではない。市は経費を補助金として支出し、関係者のボランティア活動で行なわれている事業である。また、市は支援が必要な家庭に対する支援を行なっており、市の関与は適切であると考えている。		
	後期に向けた課題	訪問を拒否する家庭への支援、養育が困難な家庭発見後の支援に課題がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	プレゼントは更生保護女性会がプレゼントの袋詰めしており、手作りのカードを作成するなどボランティアで事業を支えていただいている。また、民生児童委員、主任児童委員は訪問活動を実施していただいている。市はプレゼント作成の事業費補助及び支援が必要な家庭に対する支援を行なっている。		
	後期に向けた課題	訪問を拒否する家庭への支援、養育が困難な家庭発見後の支援に課題がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	民生児童委員・主任児童委員が子育て家庭へ訪問することで子育て家庭を地域で見守ることができる。また、プレゼント持参し子どもの誕生を祝うことにより、子育て家庭も地域で見守られているという安心感を得ることができる。こうしたことにより、親の孤立化を防ぎ、児童虐待の防止につなげることができる。		
	後期に向けた課題	訪問を拒否する家庭への支援、養育が困難な家庭発見後の支援に課題がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------